



□65□

# 島根県

観光産業に比べいま一つ 占有率を伸ばす。長引く景気低迷で厳しい状況が続いている。その中で、独創技術と製品で新市場拡大に向け果敢に挑戦する企業がある。

小松電機産業（松江市乃木福富町735の188、小松昭夫社長、0852・32・3636）は85年に高速シートシャツを発売した。累計販売実績は7万7000台に近づいている。全国のシートシャツ市場の約70%を占める。「エクセレント門番」と「オプトロン門番」のKUシリーズをラインアップ、

「環境問題への関心が高まる中、作業効率の改善、省エネ推進などで注文が舞い込んでいる」（須藤文義社長室長）。昨年9月には

iモードとインターネットを利用した上下水道管理システム「新水神ネットワークシステム」を開発し注目されている。

義肢装具・医療器具メーカーの中村ブレイス（島根県大田市大森町51の1、中村俊郎社長、0854・89・0231）は人口500人という中国山地の山あ

は異彩を放っている。飛躍の原動力になったのがシリコンゴム製インソール（靴の中敷き）など世界9カ国で取得した国際特許。「社員の自信と誇りとなり、世界へ通用する製品をつくり出すことになった」（中村社長）。

反響が大きく注文があった。でもすぐ対応できないのが悩みだ。中村社長のモノづくりの原点は「人に喜ばれるものをつくりたい」。

エステック（島根県八束郡東出雲町揖屋2797、永島正嗣社長、0852・52・6100）は従業員が20人と小粒ながらほぼ全

## 小松電機産業 シートシャツ 首位

## 中村ブレイス 社員60人の世界企業

## エステック オリジナル製品を開発

いにある。かつて「石見銀山」で栄えたところで、中村社長の故郷だ。

体の一部を失った人のために本物をそっくりの再現する技術と芸術を融合した

91年に永島社長が大手企業を脱サラして設立した。以来、「自社オリジナル製品の開発に100%こだわ

典型的な過疎地に本社を置き、国内だけでなく海外40数カ国と取引がある。社員60人の小さな世界企業

「メディアカルアート研究所」がある。人工乳房「ビブファイ」や手、足、指など人間のあらゆる部位をつ

る」（永島社長）経営方針



小松 昭夫氏



中村 俊郎氏



永島 正嗣氏

は一貫している。グラインダー、超硬丸鋸（のこ）切断機、真空処理装置、レーザーマーキング装置など相次いで開発している。中でも94年に開発したミリングで銑鉄試料の表面を研磨する世界初の「ミリーング型試料調製機」はヒット商品となる。

95年には蛍光X線分析や発光分光分析用の分析用試料を切断から砥石研磨やミ

「今や製鋼分析の前処理装置やダイオキシン濃縮装置などの開発も取り組んでいる。（火、金曜日）に埋

